

【訪問看護 写真展】 安田菜津紀 × ケアプロ

フォトジャーナリストと現役看護師が写し出す「在宅」医療の現在

ケアプロ株式会社（東京都中野区：代表取締役 川添高志）は、株式会社スタジオアフタモード（神奈川県横浜市：代表取締役 矢萩邦彦）と共催にて、「訪問看護」をテーマとした写真展を開催いたします。

現在、日本が直面する世界に類を見ない「超高齢社会」における、「医療財源の枯渇」「2025年問題」「看取り難民」といった様々な社会問題において、地域における包括的かつ継続的な「在宅」領域での医療・介護の拡充は必要不可欠となってまいります。

（厚生労働省「平成24年度 高齢社会白書」より：http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2014/gaiyou/s2_2_2.html）

そこで、訪問看護の認知拡大と人材流入の促進を目的として、フォトジャーナリストの安田菜津紀氏と、ケアプロ株式会社看護師兼フォトグラファーの石塚奈津の両名により撮影された、訪問看護のリアルな〈現在〉を切り取った写真の数々を展示いたします。



▼写真展 開催概要

【イベント名】 「私らしさと、共に生きる。～我が家と訪問看護～」

・専用ページ：<https://www.facebook.com/events/1737779706441322/>

【開催期間】 2015年12月12日（土）～21日（月）※12月17日（木）休館日

・レセプションパーティー：2015年12月12日（土）16:00～17:30

・ギャラリートークセッション：2015年12月19日（土）14:00～15:30

【場所】 四ツ谷ひろば CCAA アートプラザ ランプ坂ギャラリー ランプ2・3

▼フォトジャーナリスト安田菜津紀 氏プロフィール

<http://www.yasudanatsuki.com>

1987年神奈川県生まれ。studio AFTERMODE 所属フォトジャーナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたち取材。

カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。2012年、「HIVと共に生まれる -ウガンダのエイズ孤児たち-」で第8回名取洋之助写真賞受賞。共著に『アジア×カメラ 「正解」のない旅へ』（第三書館）、『ファインダー越しの3.11』（原書房）。

現在、TBS「サンデーモーニング」にレギュラーコメンテーターとして出演中。上智大学卒。

会社・団体 概要

ケアプロ株式会社

〒164-0011 東京都中野区中央 3-13-10 JOY HAYASHI 3F

代表取締役社長：川添 高志（かわぞえ たかし）〔看護師・保健師〕

<http://www.carepro.co.jp> 「セルフ健康チェック」と「訪問看護」を展開中

（備考）

- ・東京大学 医療政策人材養成講座 優秀成果物 特賞を受賞
- ・慶応義塾大学 SFC Entrepreneur Award 2007 The Best New Market Award を受賞
- ・第1回社会イノベーター公志園 審査員特別賞を受賞
- ・次代を創る100人（日経ビジネス 2011.10.31号）に代表川添が選出
- ・アショカ・フェローに代表川添が選出
- ・「日経ソーシャルイニシアチブ大賞 2013」国内部門賞に選出

株式会社スタディオアフタモード

〒220-0000 神奈川県横浜市西区浅間町 1-4-3 Wizard 201

代表取締役 CEO：矢萩 邦彦（やはぎ くにひこ）

<http://www.aftermode.com>

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

ケアプロ株式会社 在宅医療事業部 広報担当 一和多（いちわた）

【電話】 03-6696-9789 【メールアドレス】 info@carepro.co.jp